

市では、災害時の連絡体制を強化するため、平成19年度から防災行政無線の更新工事を進めてきました。本年1月で工事が完了し、市内全域で新しい放送が始まりました。

新しい防災行政無線は、通信方式がアナログからデジタルへ移行したことで、音声により鮮明になり、いくつかの新しい機能が追加されました。

そこで、今回は新しく追加された機能を紹介します。

●全国瞬時警報システム（Jアラート）

Jアラートとは、国から発表される緊急地震速報や武力攻撃等国民保護に関する緊急情報などを、通信衛星と市の防災行政無線を通して市民の皆さんへ瞬時に伝達するものです。

緊急地震速報とは

地震は、P波と呼ばれる小さな揺れの後、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、震度4以上の地震が発生すると想定される場合、大きな揺れが来る数秒から数十秒前にチャイムに続いて情報が流れます。

なお、提供基準の違いなどから、テレビやラジオなどで緊急地震速報の提供が行われても、Jアラートによる緊急地震速報の提供が行われない場合があります。

※武力攻撃等国民保護に関する情報の場合は、サイレンに続いて情報が流れます。

●テレホンサービス

放送された内容が聞き取れなかった場合には、電話で放送内容を確認することができます。

自動電話応答装置 ☎**55**7713

※放送内容をメールで配信するサービスもあります。詳しくは、市ホームページまたは総務課へお尋ねください。

●双方向通信

市役所と一部の屋外子局において、電話のように送信と受信を同時に行うことが可能です。この機能により、災害などで地域が孤立した場合でも、屋外子局と災害対策本部で通話することができます。

●録音

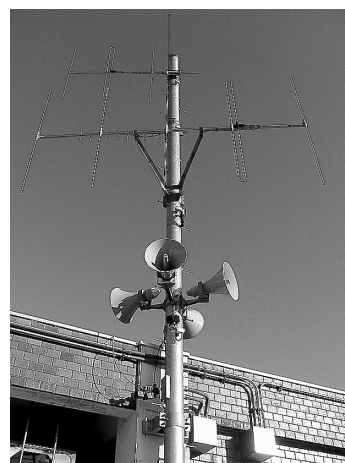
緊急性の高い重要な情報に関しては、屋外子局で録音し、ボックス内の受話器で再生して聞くことができます。

●気象データ収集

雨量、風向、風速、気温のデータを市内各地点からリアルタイムで収集可能です。



詳しくは、総務課防災係（内線224）へどうぞ。



防災行政無線が
新しくなりました